

コミュニティ・スクール(地域とともにある学校)

CS だより

富士第一小学校
令和5年5月1日
NO. 1
発行：CS事務局

富士第一小学校は、令和2年度からコミュニティ・スクールの指定を受け、学校運営協議会を設置し、地域との結びつきをより一層強くしてスタートしました。5月から新型コロナウイルスに対する規制緩和が始まります。学校生活でも対応が緩和されることと思います。しかし、コロナ以前に戻すのではなく、ICTを取り入れながら、さらに将来を見据えてより良い学校運営になるように協議会でも熟議を重ねていく必要があります。

今回は、設置の経緯を振り返りながら、3年間で熟議を重ねて少しずつ動き始めた取組を紹介し

わたしたちの「富士第一小学校」

令和2年度 コミュニティ・スクールになりました

「わたしたちの地域を担う
子どもたちの輝く未来のために」

- ・学校と地域が連携・協働する。
- ・学校と地域で目標とビジョンを共有する。
- ・学校運営に地域の声を生かし、地域と一体になって特色ある学校づくりを進める。

7

令和5年度 富士第一小「学校運営協議会委員」(15名) 紹介

会長 島田圭悟



富士駅北まちづくり
協議会副会長

副会長 松永真代



富士かじま
児童クラブ代表

青山泰謙 (身延山久遠寺法務部長・蓮心寺住職)

法月栄治 (令和5年度富士第一小学校PTA会長)

海野光由 (富士駅北まちづくり協議会会長)

金指和雄 (富士市交通安全指導員富士駅北幹事)

河合辰哉 (するが幼稚園園長)

片岡大典 (富士駅北まちづくりセンター長)

鈴木康弘 (富士駅北まちづくり協議会副会長)

服部英之 (令和4年度富士市PTA連合会会長)

渡邊史子 (令和4年度放課後学習支援かじま教室代表)

齊藤隆裕 (富士第一小学校校長)

池田 潔 (富士第一小学校教頭)

渡邊梨沙 (富士第一小学校主幹教諭)

田中英子 (富士第一小学校 CS 事務局)

「コミュニティ・スクール」設置の背景

子どもたちや学校を取り描く環境が複雑化・多様化する中、子どもたちや地域の未来を創るためには、「社会総掛かり」で対応、学校・家庭・地域による一体的な取組が必要となりました。

<地域の課題>

少子高齢化、自治会未加入、地域の担い手、こども会の弱体化、地域の行事、伝統文化の継承
外国人居住者、空き家の増加、防災防犯 等

<学校の課題>

小中一貫教育、こどもの安心安全、不登校、いじめ、生徒指導、キャリア教育、働き方改革
SNS、外国籍児童の増加 等

令和4年度の取り組み

～かじま縁でつながるまちづくり～「こども見守り隊」

現在富士駅北地区では、地域と学校、子どもと大人、大人と大人がつながり安心して暮らせる地域をつくるために、子どもの見守りを強化する取組を実施しています。学校では、先生方が名札にバッジをつけて、子どもたちにながら見守りの説明をしています。ちょっと散歩に出たとき、買い物に行くときに、この黄色いバッジをつけて、子どもの見守りに御協力をお願いします。令和4年度末に、バッジの新しいデザインを子どもたちにお願ひしました。子どもの絵を見ていると元気が出ます。どんなデザインが出てくるか楽しみです。

バッジは、富士駅北まちづくりセンターで無料配布しています。さらに、地域の団体で、すでに子どもの見守り活動を実施している団体にも協力をお願いします。



新規デザイン募集

～かじま縁でつながるまちづくり～

“ちいき”の子どもは“ちいき”で守る
『ながら見守り』のお願い
しなやかに・出来ることを・できるときに

目印『こども見守り缶バッジ』
富士駅北地区まちづくりセンターで配布しています。

『お買い物のとき』
いってらっしゃい

『登下校の時』
おはようございます
ありがとうございます

『犬の散歩をしながら』『ジョギングをしながら』

富士第一小学校 学校運営協議会 (富士第一小学校 0545-61-0042) 富士駅北地区まちづくり協議会 (富士駅北まちづくりセンター 0545-63-5211) 富士駅前交番 (0545-61-6398)

どこにいても いつまでも 富士駅北地区の大切一員



富士駅北まちづくりセンター

今年最後の学校運営協議会では、来年度に向けて様々な意見が出されました。そして協議会后、早速、以下のメッセージがまちづくりセンターに掲示されました。地域の大人たちからの気持ちを届けようというものです。

「高校生の皆さん。中学生の皆さん。

小学生の皆さん。卒業おめでとうございます。」

(まちづくり協議会・学校運営協議会)

卒業して富士を離れることになっても、どこにいても、いつまでも、みんなはこの富士駅北の大切な一員です。難しいことにもつねに挑戦する気持ちを忘れないで頑張ってください、という思いを込めてあります。